

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 貿易統計(2008年12月)
～貿易赤字幅はさらに拡大～

発表日2009年1月22日(木)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 小杉 晃子
TEL : 03-5221-4548

		貿易収支(億円)				輸出数量				輸入数量			
				輸出金額	輸入金額	アメリカ		EU	アジア	アメリカ		EU	アジア
		原数値	季調値	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
07	1月	18	10519	19.0	10.2	11.3	1.5	1.2	18.3	1.0	11.6	▲ 4.2	▲ 2.7
	2月	9615	6366	9.7	10.4	▲ 0.6	▲ 2.3	▲ 3.3	▲ 2.3	8.2	3.5	▲ 4.3	12.3
	3月	16026	10503	10.3	0.6	1.4	▲ 7.4	▲ 4.8	4.1	▲ 5.5	3.8	▲ 4.6	▲ 14.5
	4月	9031	11138	8.2	3.8	2.3	▲ 10.2	▲ 5.7	7.2	▲ 3.7	7.2	▲ 5.2	▲ 3.3
	5月	3955	7343	15.2	15.4	5.2	▲ 10.8	▲ 2.5	12.5	3.3	9.5	2.9	4.6
	6月	12460	8938	16.2	10.4	5.3	▲ 7.3	▲ 2.6	9.2	▲ 3.6	▲ 4.1	1.4	▲ 4.7
	7月	6820	8375	11.7	16.7	2.2	▲ 10.3	▲ 6.4	10.2	3.3	2.3	11.6	3.7
	8月	7436	10530	14.6	5.8	7.1	▲ 3.2	▲ 3.7	15.0	▲ 2.1	▲ 9.7	▲ 0.4	▲ 4.8
	9月	16087	10337	6.3	▲ 3.0	1.8	▲ 12.7	0.9	6.2	▲ 5.8	▲ 4.7	▲ 0.0	▲ 11.2
	10月	9994	9953	13.8	8.7	10.0	▲ 5.3	10.9	14.2	1.7	3.5	1.6	▲ 3.9
	11月	7844	8933	9.6	13.3	7.7	▲ 10.5	▲ 7.7	15.2	3.2	▲ 2.2	5.1	▲ 4.6
	12月	8669	6456	6.8	12.3	5.6	▲ 7.3	▲ 10.6	12.1	▲ 0.6	4.7	▲ 5.9	▲ 5.2
08	1月	▲ 898	8840	7.7	9.2	8.1	▲ 3.1	3.5	12.4	0.6	▲ 7.0	▲ 1.5	1.7
	2月	9633	6502	8.7	10.2	14.6	1.8	8.6	22.3	▲ 0.9	▲ 0.7	0.6	▲ 2.9
	3月	11090	6665	2.3	11.2	6.5	▲ 3.4	5.5	8.5	4.3	▲ 8.5	2.9	12.6
	4月	4752	5796	3.9	12.0	9.3	▲ 0.5	3.8	14.2	5.9	▲ 6.1	4.2	5.8
	5月	3578	4738	3.7	4.5	7.1	▲ 0.3	0.1	11.0	▲ 3.4	▲ 11.1	▲ 7.3	▲ 4.7
	6月	1192	1020	▲ 1.8	16.5	▲ 0.1	▲ 8.6	▲ 8.9	3.1	4.5	12.2	4.5	2.1
	7月	822	893	8.0	18.3	9.1	▲ 5.2	3.1	12.4	2.3	▲ 1.7	▲ 11.3	1.0
	8月	▲ 3321	▲ 2460	0.3	17.4	▲ 0.8	▲ 18.9	1.7	3.0	▲ 4.4	1.9	▲ 8.1	▲ 5.0
	9月	857	▲ 305	1.5	28.9	▲ 0.2	▲ 12.2	▲ 8.0	1.7	6.2	5.0	4.0	10.2
	10月	▲ 671	▲ 2479	▲ 7.8	7.4	▲ 6.4	▲ 16.9	▲ 10.4	▲ 2.3	▲ 2.1	▲ 18.0	▲ 6.0	2.0
	11月	▲ 2252	▲ 3871	▲ 26.7	▲ 14.4	▲ 22.2	▲ 28.5	▲ 16.7	▲ 21.8	▲ 10.7	▲ 12.2	▲ 14.8	▲ 8.6
	12月	▲ 3207	▲ 1488	▲ 35.0	▲ 21.5	▲ 29.8	▲ 31.3	▲ 29.7	▲ 30.6	▲ 7.1	▲ 16.1	▲ 10.7	▲ 5.6

(出所)財務省「貿易統計」

○貿易収支は3ヵ月連続の赤字

12月の貿易収支は▲3,207億円(原数値)と3ヵ月連続で赤字となった。輸出金額は前年比▲35.0%と、前月(同▲26.7%)に続く記録的な落ち込みとなり、数量ベースでも前年比▲29.8%と前月(同▲22.2%)からマイナス幅は拡大している。輸入金額は原油価格下落に伴い、前年比▲21.5%と前月(同▲14.4%)に引き続き減少し、マイナス幅も拡大した。輸入が減少傾向で推移しているものの、世界経済の急減速を受けて、輸出金額の減少がそれを上回り、貿易赤字幅は拡大した。

○米国・欧米に加え、アジア、新興国向けの輸出悪化は続く

輸出の動向を地域別(金額ベース)にみると、依然として米国向け(前年比▲36.9%←前月同▲33.8%)、EU向け(同▲41.8%←前月同▲30.9%)の落ち込みが目立つ。また、12月は特に11月急減速したアジア向け(同▲36.4%←前月同▲26.7%)をはじめ、ロシア向け(前年比▲36.3%←前月同▲6.7%)や中東向け(前年比▲10.7%←前月同▲0.5%)輸出の落ち込みが急速となっている。

品目別で見れば、自動車輸出の米国向け(前年比▲52.6%←前月同▲44.0%)、EU向け(同▲63.4%←前月同▲37.2%)は前月に引き続き、急減している。また、新興国向けについても、前月から自動車や半導体などの電子部品をはじめとする電気機器の輸出の減少が継続しており、先進国の需要の落ち込みが深刻化するなか、悪化が消費財の生産、輸出を行う新興国にも波及していることが窺える。

輸出数量を地域別にみると、米国向け(前年比▲31.3%←前月同▲28.5%)、EU向け(同▲29.7%←前

月同▲16.7%)となっており、金額ベースの動きと同様、大幅な落ち込みが続いている。さらに、これまで米国・欧米向けに比べて一定の底堅さを維持してきたアジア向け（前年比▲30.6%←前月同▲21.8%）も、減少の度合いを強めている。

○今後も当面、輸出は減少基調で推移する見通し

日銀発表の実質輸出は、12月に前月比▲9.8%（前月同▲14.5%）となっており、リーマン・ブラザーズ破綻の悪影響が本格化した10月からの落ち込み幅は極めて大きい。先進国需要減退の影響により、アジアなどにも景気の減速感が強まったことを反映しているといえる。米国をはじめとする海外経済には、悪化に歯止めがかかる兆しは未だみえていないことに加えて、足元で生じている円高が今後の輸出を抑制するだろう。先行きについても、輸出は減少傾向が続くと見込まれる。

輸出は企業の生産や設備投資に大きな影響を与え、こうした企業部門の活動を通じて家計の消費や雇用とも関係が深い。海外経済の後退による輸出環境の悪化は日本の景気を下押しするリスクをさらに高めるため、日本経済の早期の景気回復は期待し難いだろう。



